

旧五十嵐家住宅について

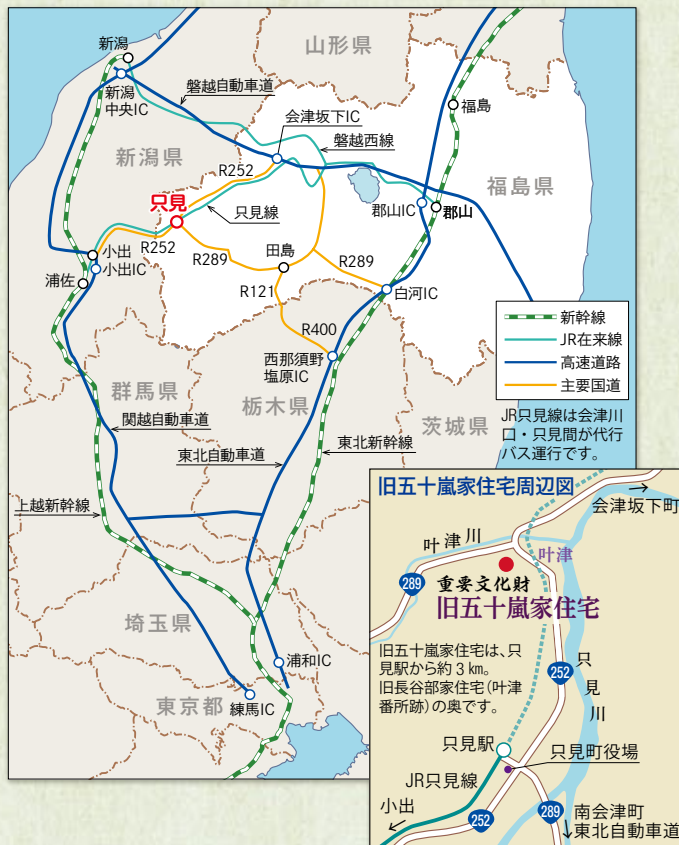
旧五十嵐家住宅は、享保3年(1718年)4月1日に酒井孝左衛門という大工が建て、施主は瀧口大作であったことが、柱に残された墨書からわかっています。これは福島県にある農家住宅のなかでは、もっとも古い建物です。所有者は、酒井家から大正3年、五十嵐家に移りましたが、本百姓だった以外、そのほかの由緒は不明です。

家の構造は、桁行7間(約13.3m)、梁間4間(約7.6m)の寄棟造り、茅葺きの建物で、江戸時代に2回、明治時代に1回修理の跡があり、大正時代には中門を増築しています。この住宅は日本海側に多い木割りの太い系統のもので、その地域性と時代の特性をしめす価値が評価されて昭和47年5月15日、国重要有形文化財に指定されました。同年、只見町が五十嵐家を買上げ、翌48年、只見字上町にあった建物を解体し、現在地の叶津字居平に移築しました。この際、中門を取り払い、いま、にわ、みずやの床板を撤去するなど、建築当初のすがたを復元して現在にいたっています。



太い梁と柱が特徴的な旧五十嵐家内部

只見町へのアクセス



交通のご案内

- 車
- 東北自動車道・西那須野塩原 IC から約2時間30分
 - 関越自動車道・小出 IC から約1時間30分(冬期間通行止)
 - 磐越自動車道・会津坂下 IC から約1時間30分
- 列車
- 東京-(上越新幹線)-浦佐-(上越線)-小出-(只見線)-只見
 - 郡山-(磐越西線)-会津若松-(只見線)-只見

重要文化財

旧五十嵐家住宅

〒968-0415 福島県南会津郡只見町大字叶津字居平437番地

開館時間 9:00～17:00

(開館期間4月最終土曜～11月第4週日曜まで)

入館料 無料

[お問い合わせ] 只見町教育委員会 生涯学習係

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591-30

TEL.0241 (82) 5320 FAX.0241 (82) 2337

重要文化財 旧五十嵐家住宅

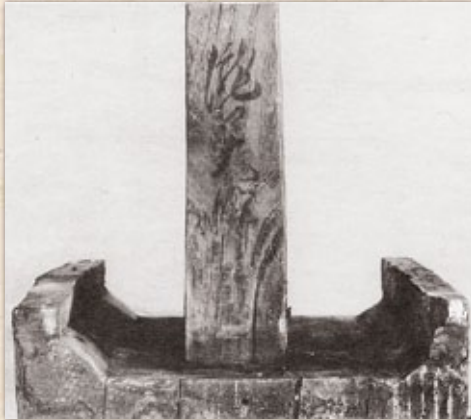


福島県只見町

移築の際に発見された柱の墨書



墨書
享保三年四月朔日
大工 酒井孝左衛門立
ゆきみなきえし



墨書
瀧口大作

旧五十嵐家住宅年表

年 代	事 項
享保 3 年 (1718)	旧五十嵐家住宅建築される。 「瀧口大作」の墨書。「享保三年四月朔日 大工 酒井孝左衛門立 ゆきみなきえし」の墨書
江戸末期 (1853～1868)	「いま」、「へや」隣の土間、「いま」、「にわ」 に目板を付ける。
明治時代 (1868～1912)	「へや」の改造。天井を設け、「へや」の西側及 び南側に目板を付ける。
大正時代 (1912～1926)	建物の古材で西寄北面に2階造りの中門を増 築し、「にわ」と「みずや」に床板を付ける。
昭和時代 (1926～1989)	「みずや」を風呂場へ。「ざしき」の床板張替。 紙張りの連子窓に硝子を嵌め込む。
昭和47年 (1972)	只見町が旧五十嵐家住宅を買収 重要文化財指定 (昭和47年5月15日)
昭和48年 (1973)	只見字上町から叶津字居平へ移築
昭和58年 (1983)	土壁の補修
平成 3 年 (1991)	屋根の全面葺替
平成19年 (2007)	屋根の全面葺替、小屋破損箇所の補修



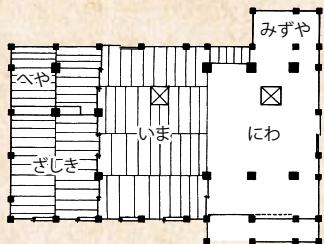
移築前内部、北東面

屋根野地拵え (平成19年)

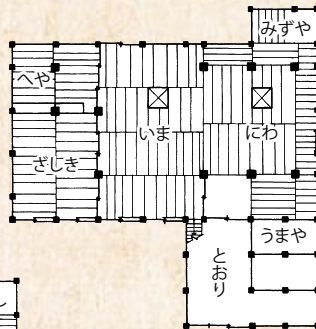


移築前内部、西面

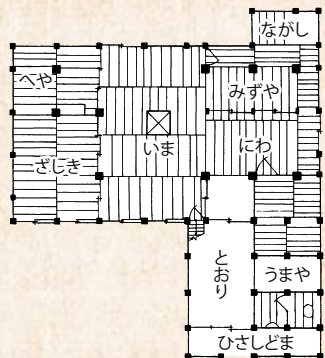
旧五十嵐家住宅の改築の変遷 (平面図)



江戸末期の修理



大正初期の修理



昭和の修理

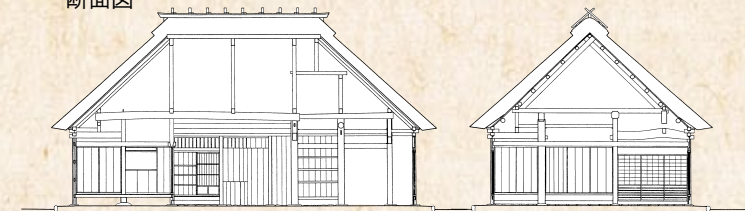


移築前の五十嵐家住宅 (昭和44年頃)

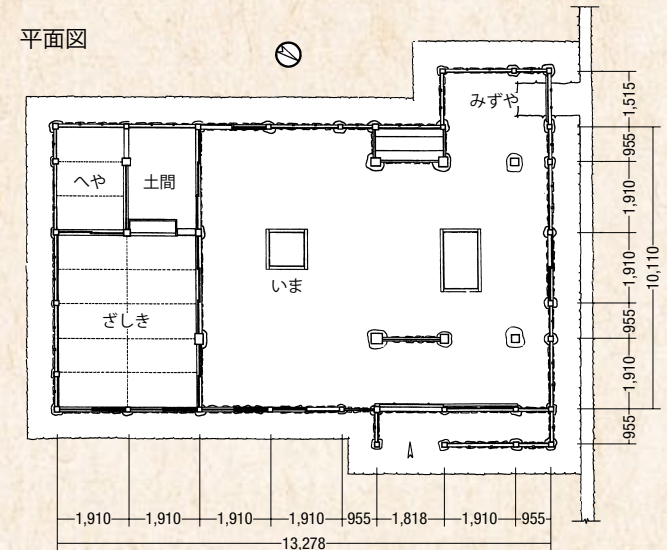


移築し修理された五十嵐家住宅 (平成19年)

断面図



平面図



現在の五十嵐家住宅〈享保3年(1718)建築当初の姿〉